

# 2024年3月期 決算説明資料

The logo for NIRECO, consisting of the word "NIRECO" in a bold, red, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a modern, blocky appearance.

(証券コード：6863)  
2024年5月15日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## 業績推移



### 実績及び計画

	23/3期	24/3期	25/3期計画
受注高	10,307百万円 (前期比+8%)	9,970百万円 (前期比▲3%)	10,600百万円 (前期比+6%)
売上高	9,155百万円 (前期比+13%)	9,861百万円 (前期比+8%)	10,000百万円 (前期比+1%)
営業利益	1,182百万円 (前期比+110%)	1,386百万円 (前期比+17%)	1,200百万円 (前期比▲13%)

### 重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

### いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

#### 事業基盤の拡大強化

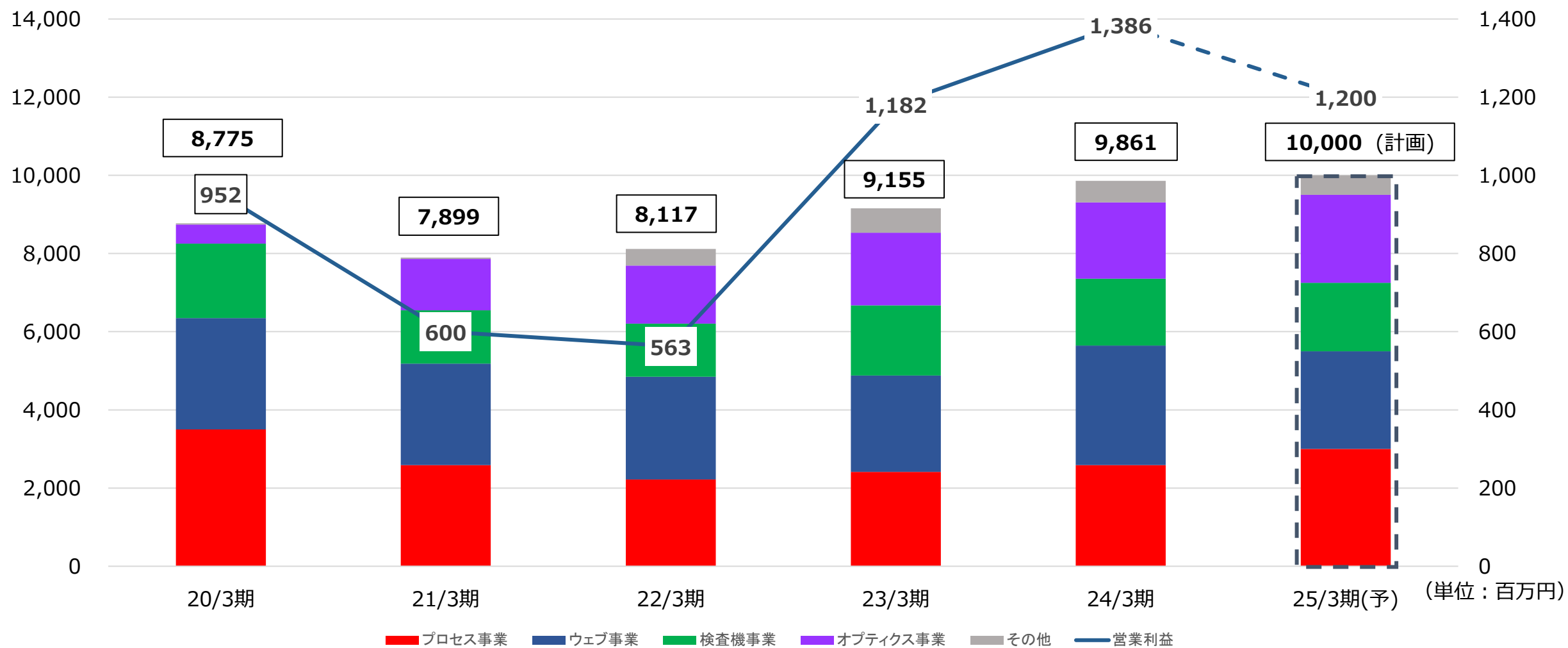
#### 競争優位性の向上

#### 24/3期の取組み

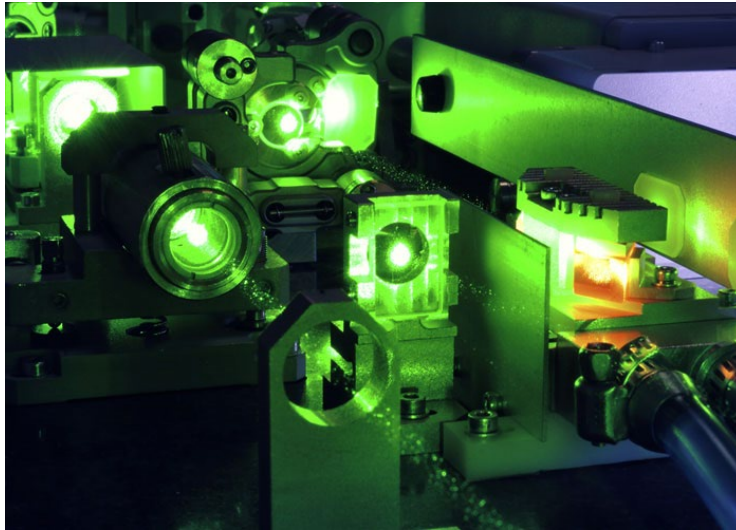
- オプティクス事業の強化
- 将来の成長を見据えた事業拠点取得
- 事業効率化に向けた組織再編

連結配当性向 45%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2.5%以上を目標

## 業績推移 (売上高・営業利益)



1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて
4. トピックス



# 1. 前期実績 (2023/4 - 2024/3)

## 連結実績

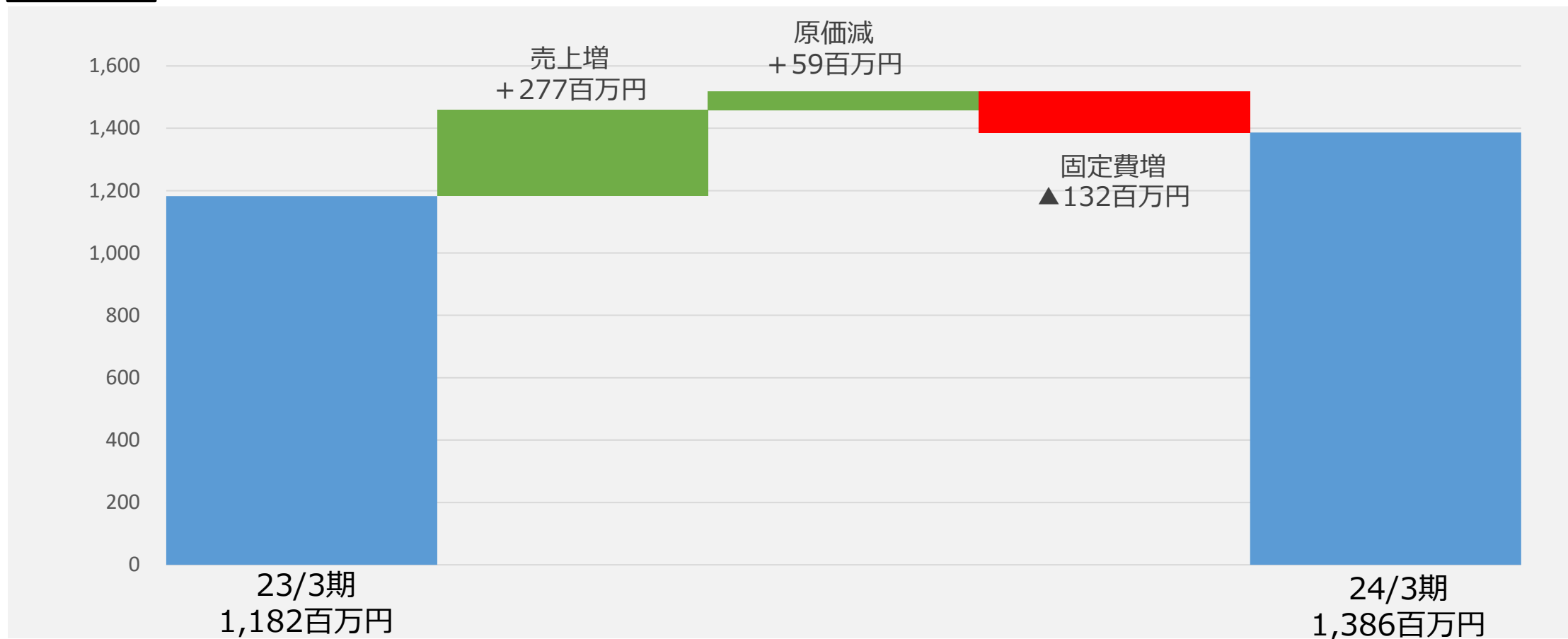
- 期初の注残水準が高水準であったことに加え、収益改善努力等から大幅な増益
- 受注についても、セグメントにより強弱あるものの好調を維持
- 1989年の株式公開以来、3番目の売上高、2番目の当期純利益水準

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期		増減率	
	実績	期初計画	実績	前期比	計画比
受注高	10,307	10,500	9,970	▲3%	▲5%
売上高	9,155	10,000	9,861	+8%	▲1%
営業利益	1,182	1,190	1,386	+17%	+17%
営業利益率	12.9%	11.9%	14.1%	-	-
経常利益	1,255	1,260	1,470	+17%	+17%
経常利益率	13.7%	12.6%	14.9%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	860	870	1,011	+18%	+16%
当期純利益率	9.4%	8.7%	10.3%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	117.4	118.7	137.4	+17%	+16%
受注残高	5,345	6,029	5,454	+2%	▲10%

## 営業利益増減要因

前期比



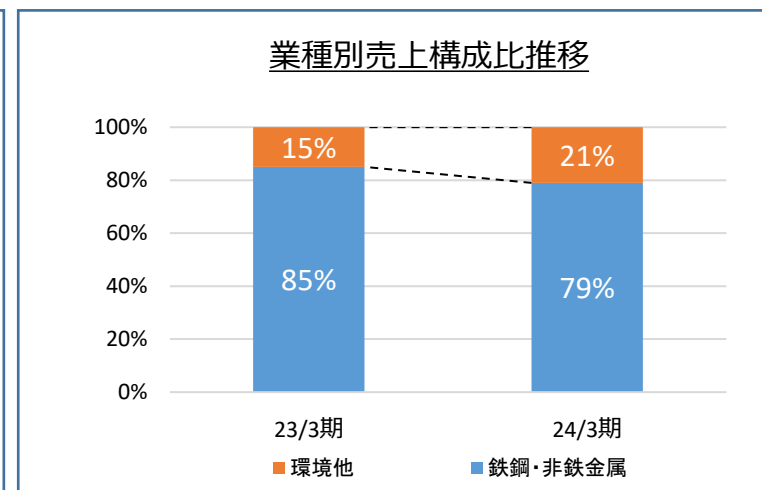
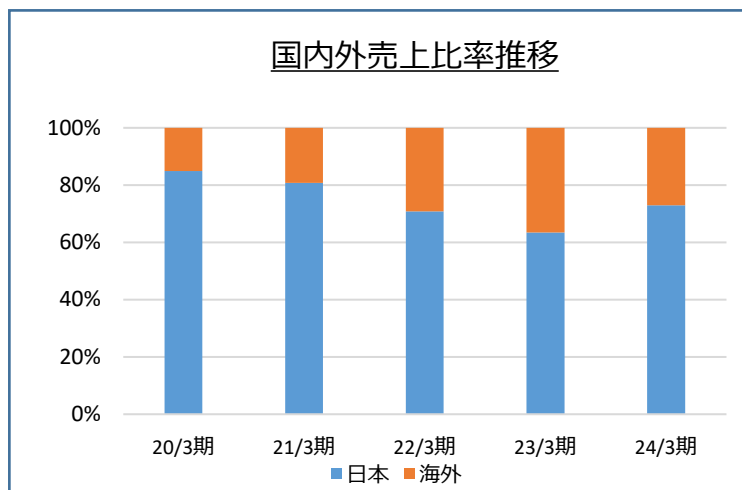
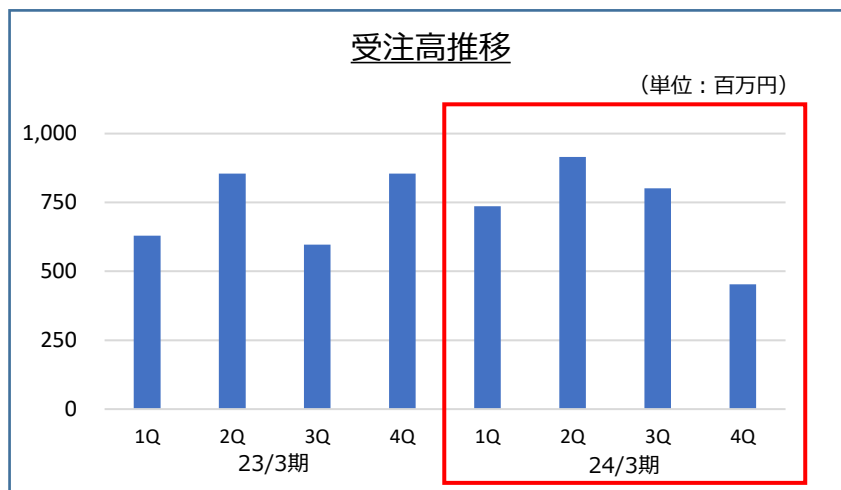
※固定費 = 販売費及び一般管理費

## プロセス事業

- 鉄鋼業界の高品位化需要や更新需要などにより売上高前年比増
- 収益性の高い製品販売が多かった前期の反動により、利益は前期比減

(単位：百万円)

	23/3期 実績	24/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,934	3,000	2,905	▲1%	▲3%
売上高	2,411	2,450	2,585	+7%	+6%
セグメント利益	460	360	442	▲4%	+23%
セグメント利益率	19.1%	14.7%	17.1%	-	-
受注残高	1,700	2,250	2,020	+19%	▲10%



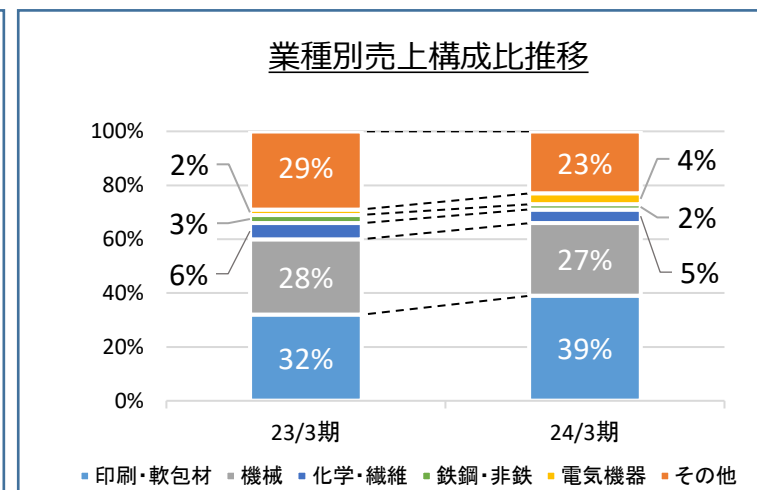
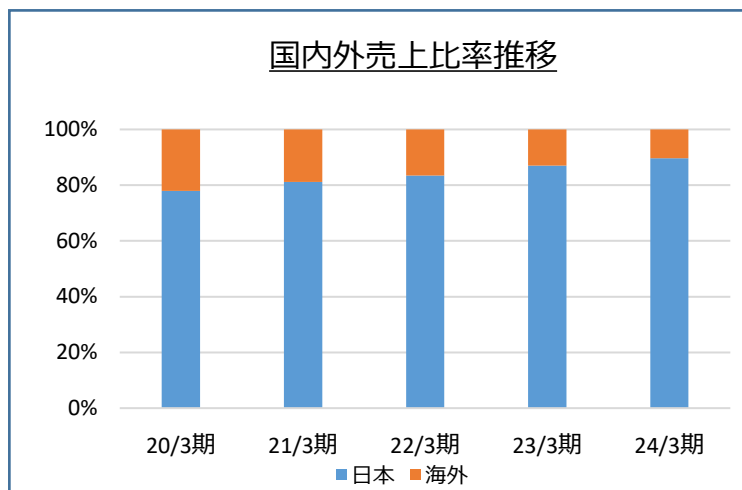
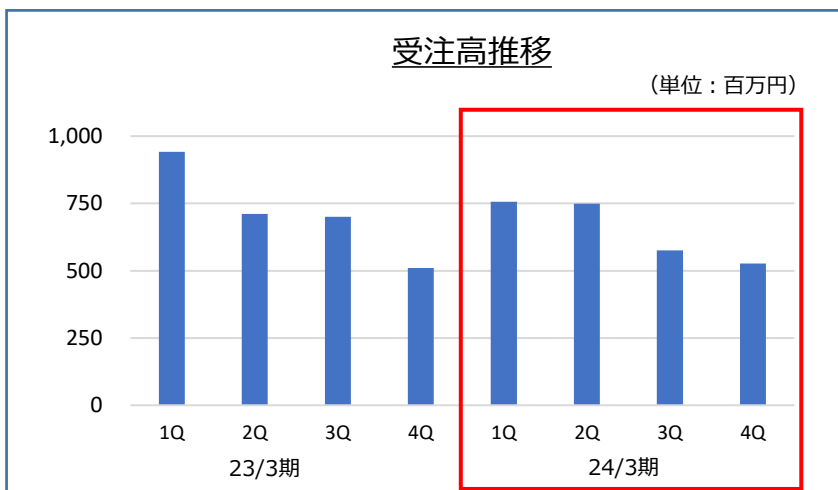


## ウェブ事業

- ▶ 海外を中心に二次電池業界向けの需要は落ち着きが見られる
- ▶ 印刷品質検査装置更新需要などにより売上高は対前年比増加
- ▶ 利益については、売上増や収益改善努力により増加

(単位：百万円)

	23/3期 実績	24/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,862	2,800	2,608	▲9%	▲7%
売上高	2,465	3,000	3,058	+24%	+2%
セグメント利益	248	380	589	+138%	+55%
セグメント利益率	10.1%	12.7%	19.3%	-	-
受注残高	1,597	1,397	1,147	▲28%	▲18%

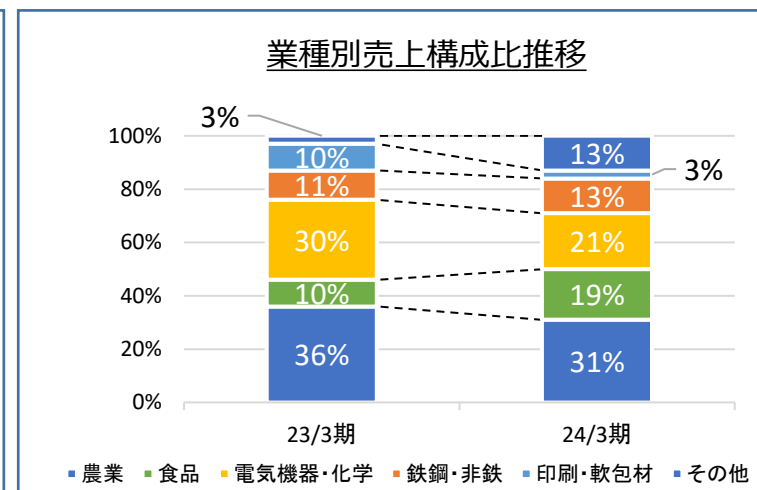
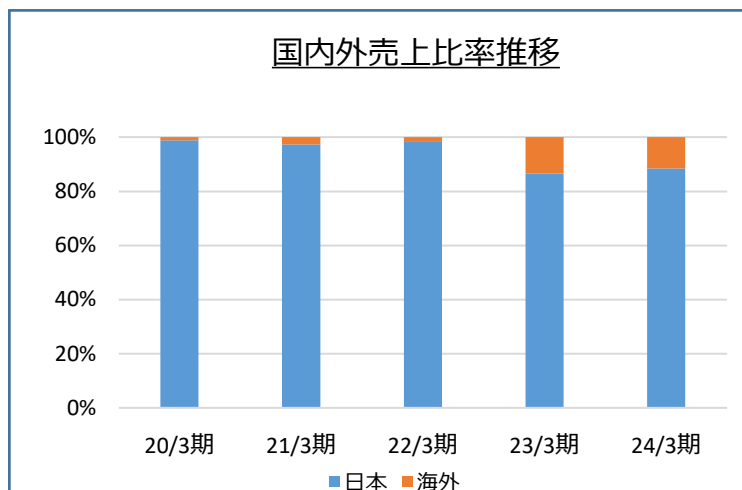
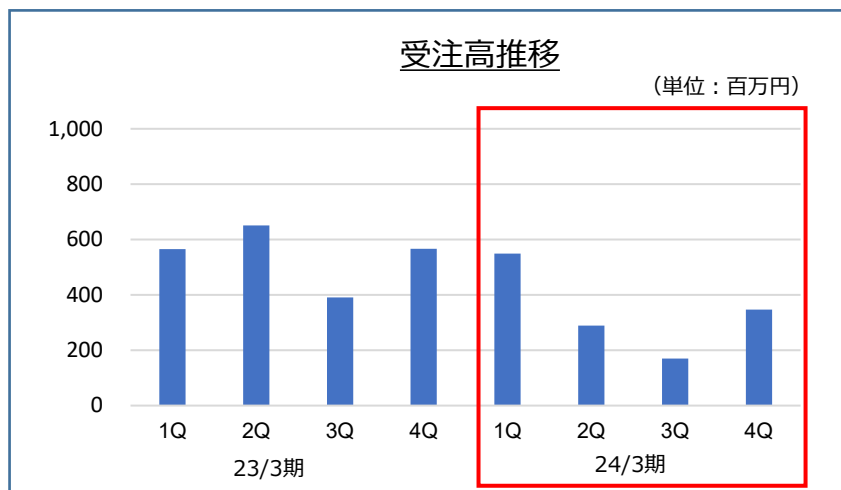


## 検査機事業

- 高水準の期首受注残高から、売上高は対前年比同水準で推移
- 二次電池設備投資停滞などから無地検査装置受注は大幅減
- 食品検査装置は大型案件の受注が無く、対前年度比で減少

(単位：百万円)

	23/3期 実績	24/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	2,172	2,200	1,353	▲38%	▲39%
売上高	1,797	1,900	1,711	▲5%	▲10%
セグメント利益	200	240	87	▲57%	▲64%
セグメント利益率	11.2%	12.6%	5.1%	-	-
受注残高	1,021	1,321	664	▲35%	▲50%

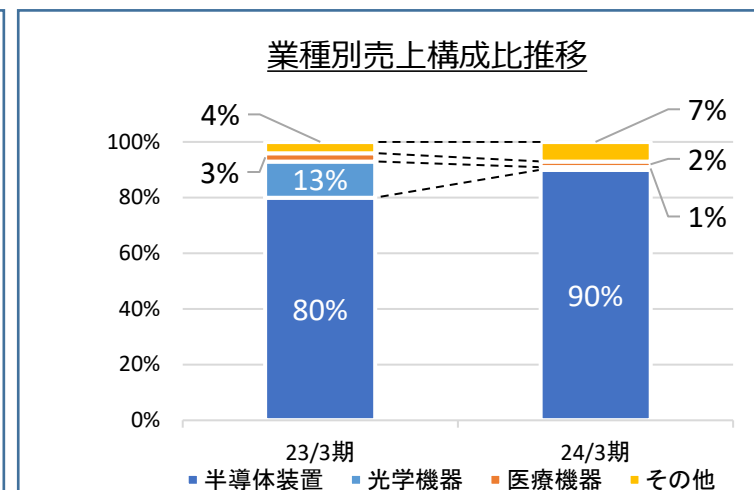
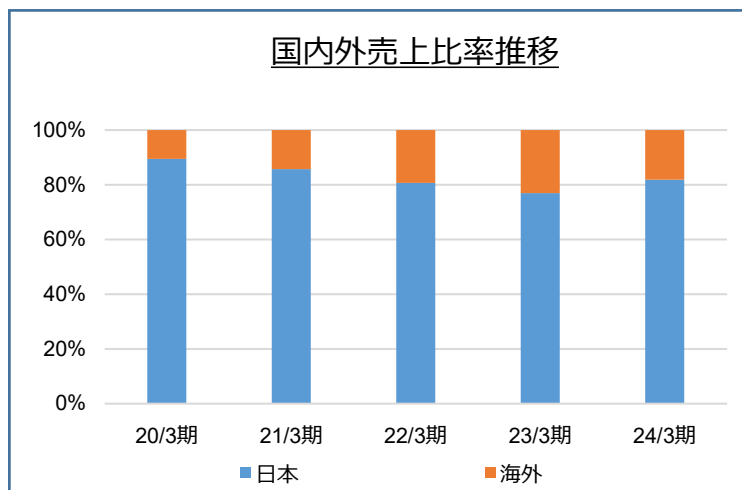
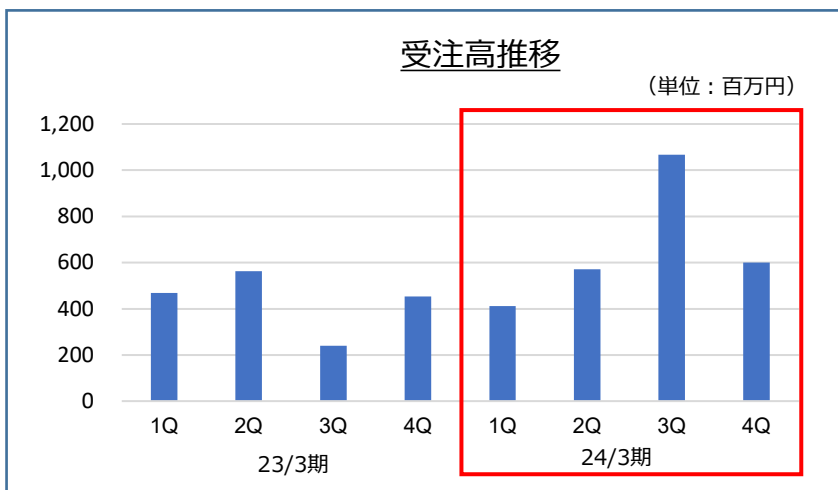


## 光学事業

- ▶ 半導体製造装置業界からの受注回復し、受注高、売上高、利益項目対前年度比増
- ▶ レーザ装置に関し、2年先までの大型受注が入り、受注高大幅増

(単位：百万円)

	23/3期 実績	24/3期		増減率	
		当初計画	実績	前期比	計画比
受注高	1,725	1,800	2,649	+54%	+47%
売上高	1,855	1,900	1,954	+5%	+3%
セグメント利益	740	660	807	+9%	+22%
セグメント利益率	39.9%	34.7%	41.3%	-	-
受注残高	814	714	1,509	+85%	+111%

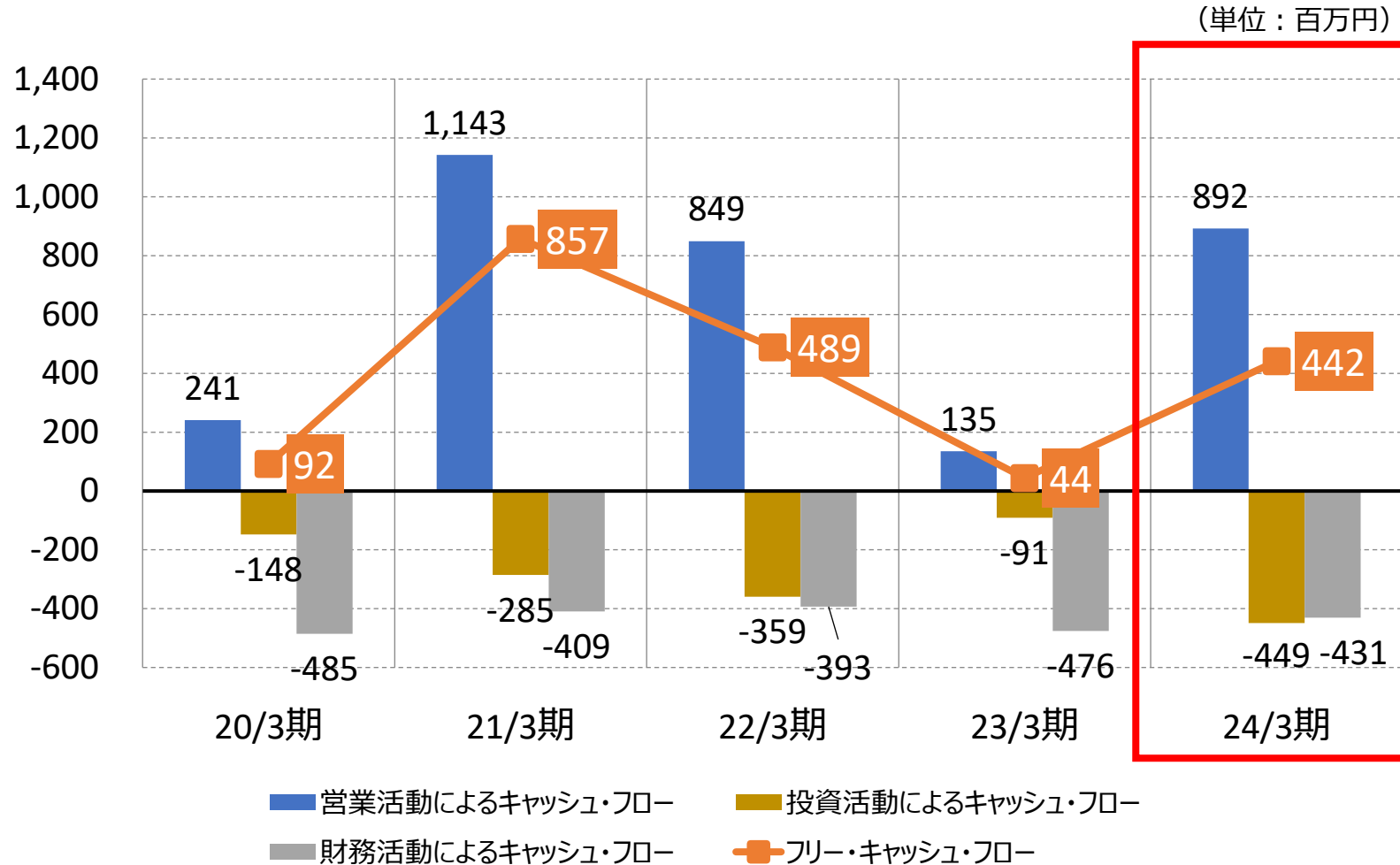


## 貸借対照表

(単位：百万円)

	23/3期		24/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	4,381	25.8%	4,354	23.4%	▲ 27
売上債権	4,025	23.7%	4,176	22.5%	+ 151
棚卸資産	3,062	18.0%	3,544	19.1%	+ 482
その他流動資産	150	0.9%	272	1.5%	+ 122
流動資産	11,619	68.3%	12,347	66.5%	+ 728
有形固定資産	3,255	19.1%	3,627	19.5%	+ 372
無形固定資産	241	1.4%	176	0.9%	▲ 65
投資その他資産	1,885	11.1%	2,422	13.0%	+ 537
固定資産	5,382	31.7%	6,226	33.5%	+ 844
<b>資産合計</b>	<b>17,002</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,573</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 1,571</b>
買入債務	449	2.6%	576	3.1%	+ 127
その他流動負債	1,390	8.2%	1,422	7.7%	+ 32
流動負債	1,840	10.8%	1,998	10.8%	+ 158
固定負債	557	3.3%	749	4.0%	+ 192
負債合計	2,397	14.1%	2,748	14.8%	+ 351
純資産合計	14,605	85.9%	15,825	85.2%	+ 1,220
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,002</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,573</b>	<b>100.0%</b>	<b>+ 1,571</b>

## キャッシュ・フローの状況



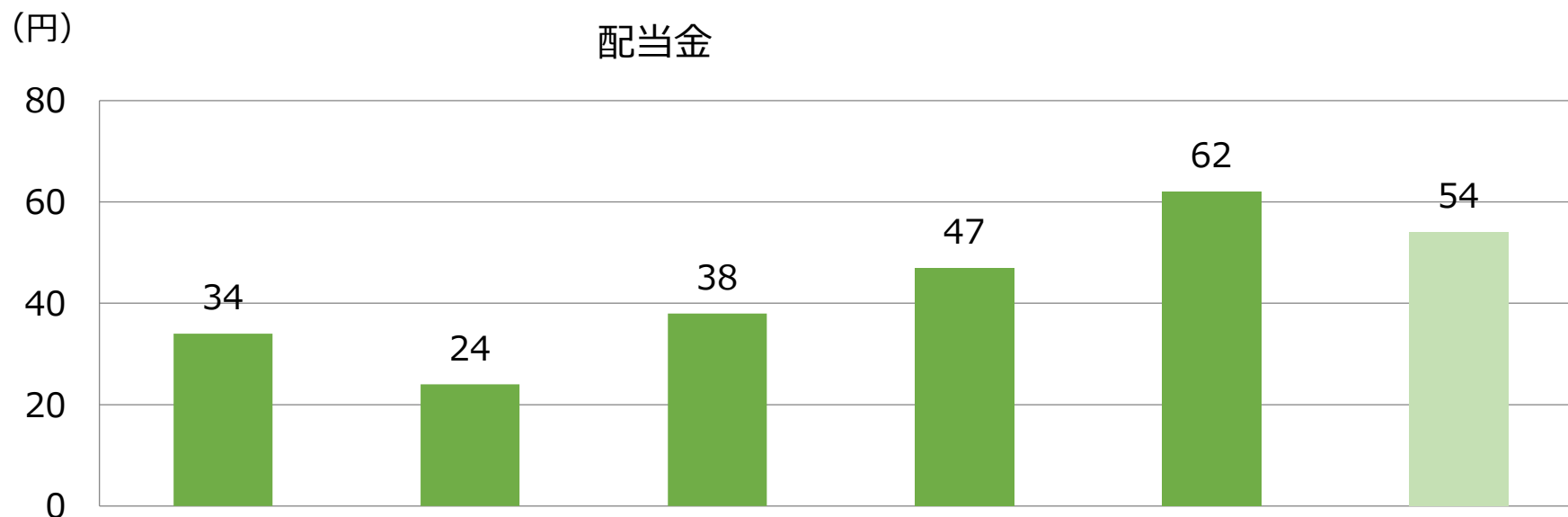
### 24/3期概況

営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益（1,468百万円）、棚卸資産の増加（-471百万円）

## 株主還元について

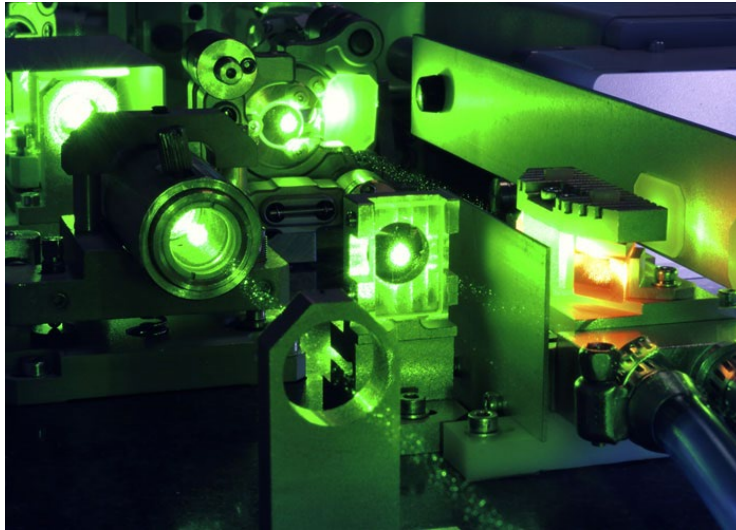
＜基本方針＞ 連結配当性向 45%以上かつ連結自己資本配当率 (DOE) 2.5%以上を目標

2024年3月期は3年連続で株式公開後最高配当額を更新



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期 (予)
1株当たり当期純利益(円)	106.58	59.06	55.41	117.40	137.36	117.94
配当金(円)	34	24	38	47	62	54
配当性向(%)	31.9	40.6	68.6	40.0	45.1	45.8
DOE	2.0%	1.3%	2.0%	2.4%	3.0%	2.5%





## 2. 今期計画 (2024/4 - 2025/3)

**NIRECO**

## 今期計画

- 売上高は引き続き高水準の受注残高を背景に増収を見込む
- 利益については、前期の反動や成長及び人的投資から減益を想定

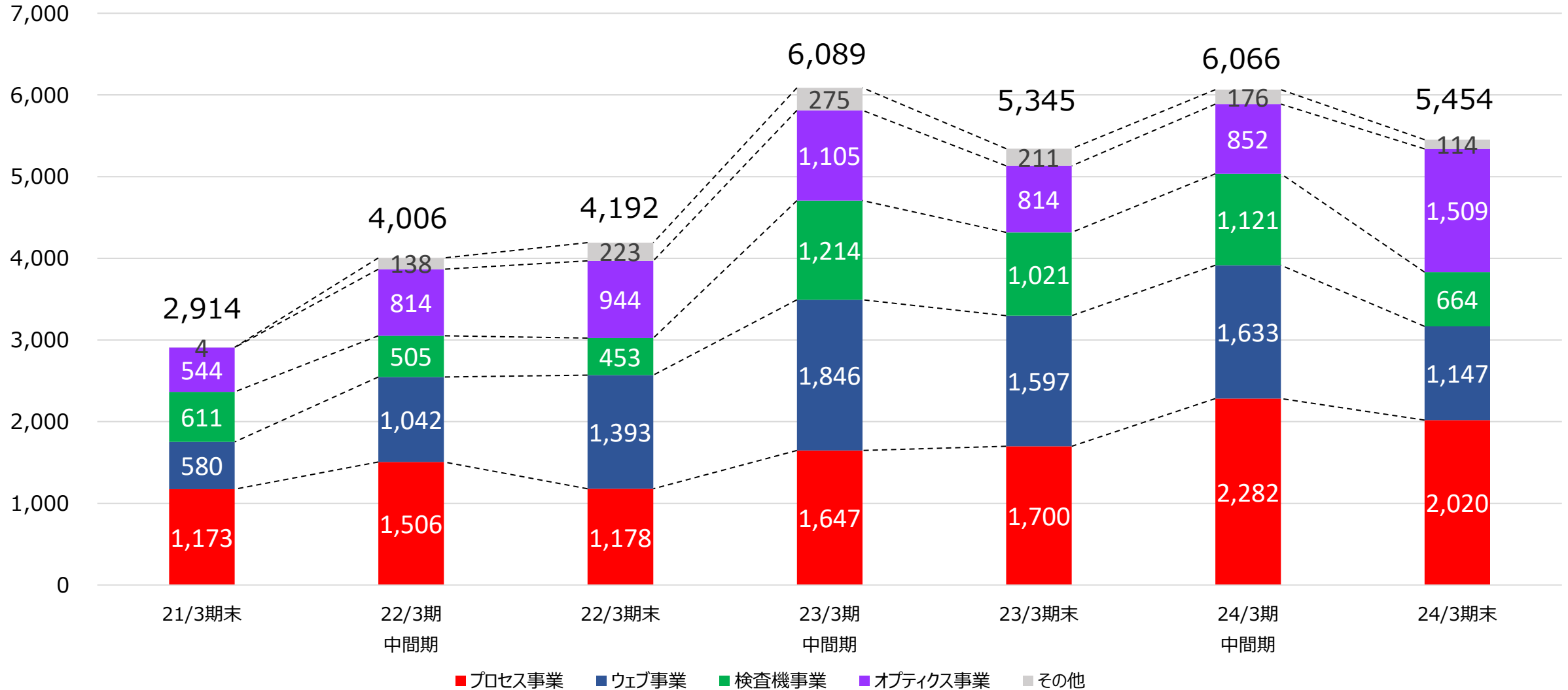
(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 計画	増減率 実績比
受注高	9,970	10,600	+6%
売上高	9,861	10,000	+1%
営業利益	1,386	1,200	▲13%
営業利益率(%)	14.1%	12.0%	-
経常利益	1,470	1,270	▲14%
経常利益率(%)	14.9%	12.7%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,011	870	▲14%
当期純利益率(%)	10.3%	8.7%	-
1株当たり当期純利益(円)	137.36	117.94	▲14%
受注残高	5,454	6,054	+11%



## 受注残高推移

(単位：百万円)



## 対象市場の状況と施策：プロセス事業

### 国内鉄鋼市場

- 鉄鋼メーカーは電気自動車用高品位鋼生産に注力



- 高品位鋼向け設備投資へ訴求する販売活動
- 元素分析装置・検査装置なども絡めた部門横断的な販売活動
- 子会社合併・事業部統合による効率改善活動に取り組む

### 海外鉄鋼市場

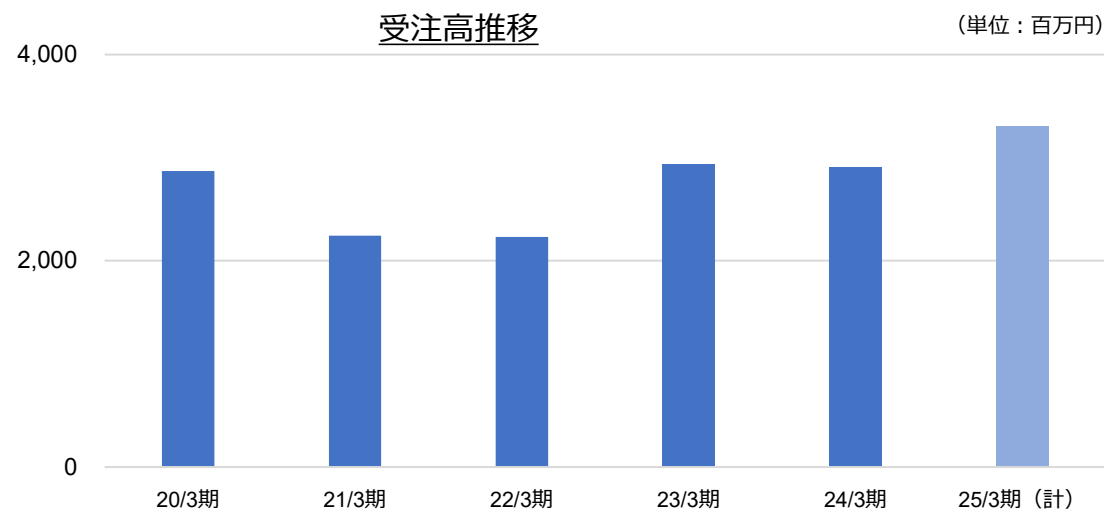
- 中国経済の低迷による海外市場での供給過剰



- グループ会社との協力による韓国鉄鋼メーカーなどへのアプローチ
- 協業関係にある独IMSグループとの連携強化を通じた北米展開と技術のグローバル展開

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 計画
受注高	2,905	3,300
売上高	2,585	3,000
セグメント利益	442	370
セグメント利益率	17.1%	12.3%



## 対象市場の状況と施策：ウェブ事業

### 電子部品・高機能フィルム市場

- 海外を中心に二次電池向け設備投資は需要一段落



- 国内二次電池分野向け設備投資へ訴求する販売活動
- 業務提携先であるE+L社製品との協業拡大

### 紙・印刷・軟包材市場

- サステナビリティ向上目的に包装材効率利用注目



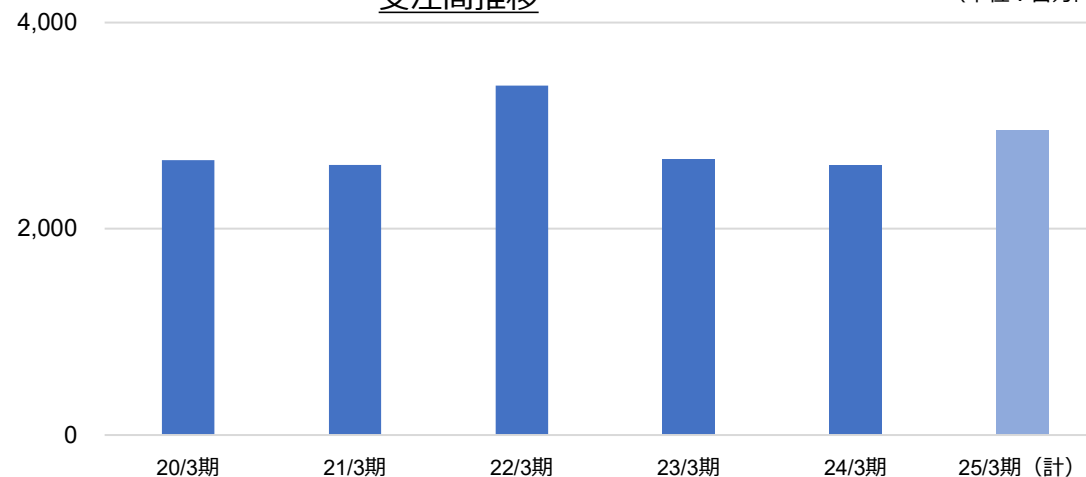
- 首都圏以外の展示会へ出展し、新規顧客開拓
- 食品包装業界での包装ロス低減へ蛇行制御装置訴求

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 計画
受注高	2,608	2,950
売上高	3,058	2,500
セグメント利益	589	350
セグメント利益率	19.3%	14.0%

受注高推移

(単位：百万円)



## 対象市場の状況と施策：検査機事業

### 電子部品・高機能フィルム市場

- 各メーカーの検査設備投資需要堅調
- 二次電池用途や金属箔、フィルム等ニーズ多様化



- ペロブスカイト太陽電池など新規検査ニーズへの対応
- 高機能化に向けた開発の加速

### 食品市場

- 農業分野向け検査装置需要は微減
- 各種加工食品向けでの機械検査需要拡大



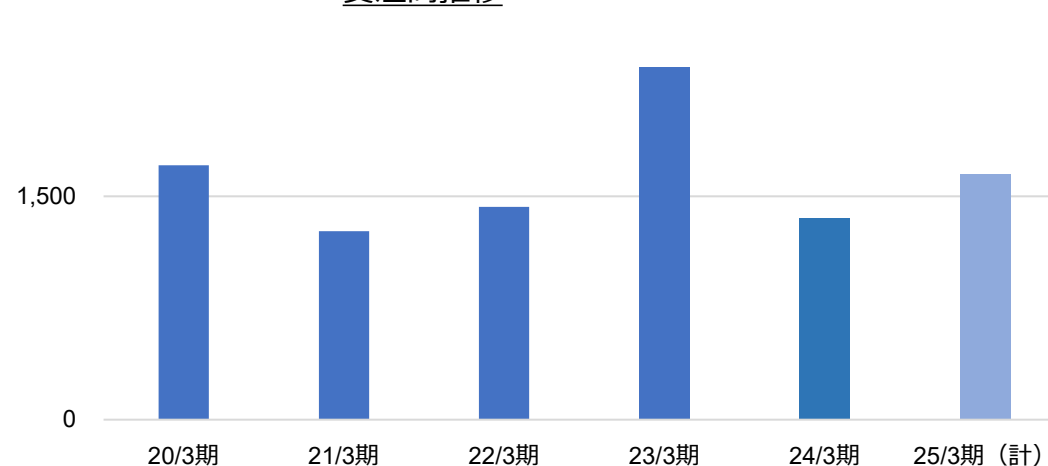
- 加工食品検査ニーズ多様化への対応強化
- 新規開拓に向けた製品開発推進

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 計画
受注高	1,353	1,650
売上高	1,711	1,750
セグメント利益	87	230
セグメント利益率	5.1%	13.1%

受注高推移

(単位：百万円)



## 対象市場の状況と施策：オプティクス事業

### 光学部品市場

- 半導体検査装置需要は調整局面から回復
- 光学部品は海外含め幅広い需要あり



- 需要に対応した生産性向上・設備増強
- 設計・加工技術の強みを活かした新規用途開拓

### レーザ関連製品等

- 半導体検査用途のニーズ強い
- 新規用途開発として、計測用途にもニーズあり



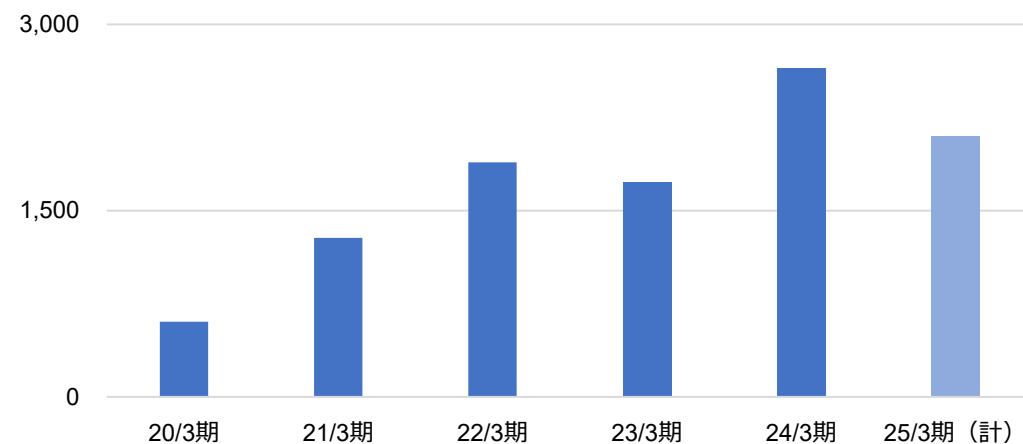
- 半導体検査や医療診断分野向けに加え、製品特徴を活かした新規用途開発
- 受注製品の生産やメンテナンス体制の確保に向けた取り組みを加速

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 計画
受注高	2,649	2,100
売上高	1,954	2,250
セグメント利益	807	780
セグメント利益率	41.3%	34.7%

受注高推移

(単位：百万円)



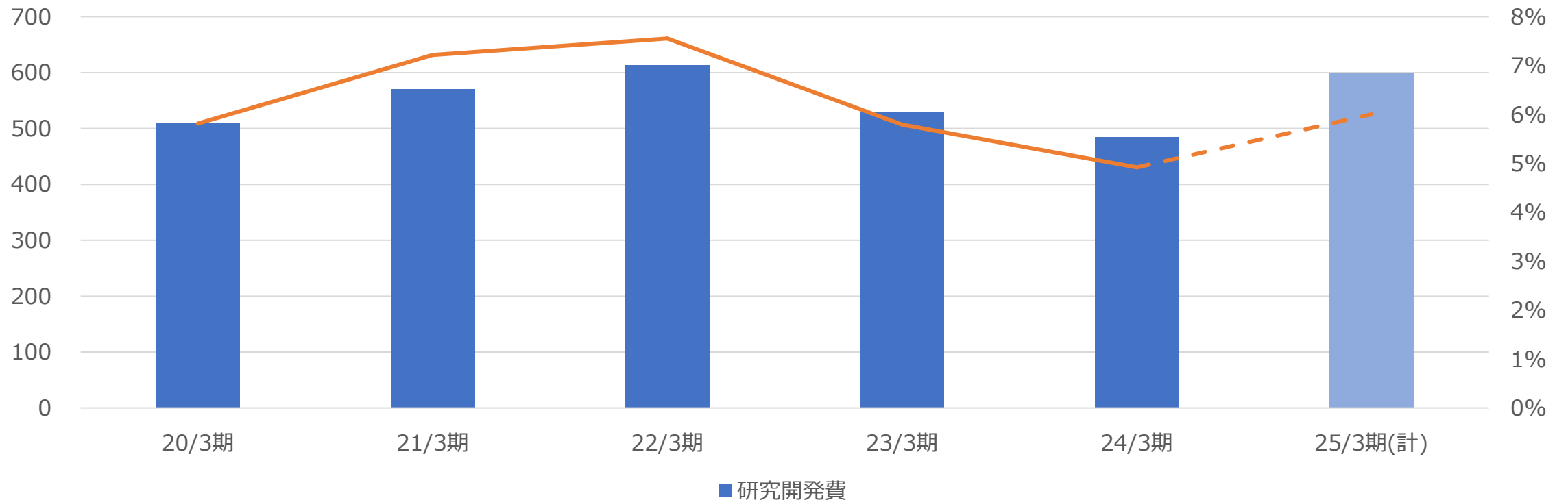
## R&D

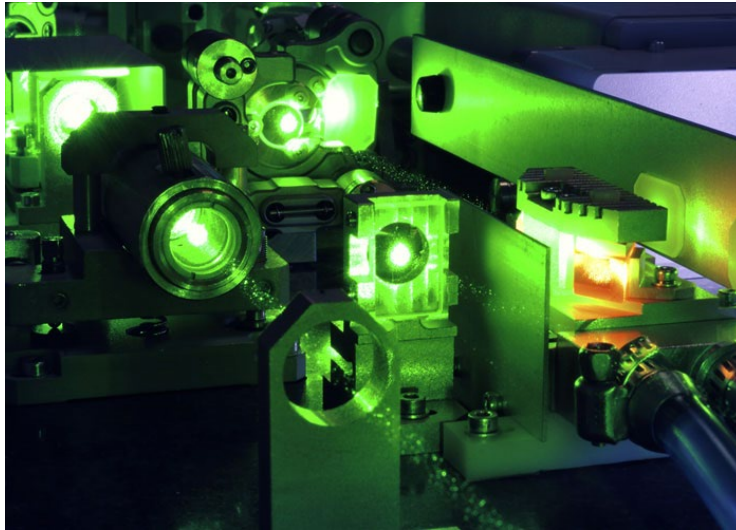
- 強みを持つ技術を活用し、新たな収益源の創出に向け、開発案件への取組みを加速

### 主な開発テーマ

- 次世代画像検査装置の開発
- レーザ技術による製品開発
- 光応用検査・計測装置の開発
- 提携先との技術交流を通じた開発

(単位：百万円)





### 3. 持続的成長に向けて

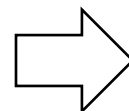


## 持続的成長に向けた成長テーマ

### いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

#### 市場の拡大

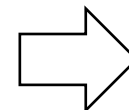
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



**事業基盤の拡大強化**

#### 技術の進化

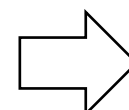
- 画像解析技術の高機能化による製品展開
- 光応用技術による製品開発



**競争優位性の向上**

#### 経営体質の強化

- 既存事業の収益改善
- グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



**経営基盤の強化**



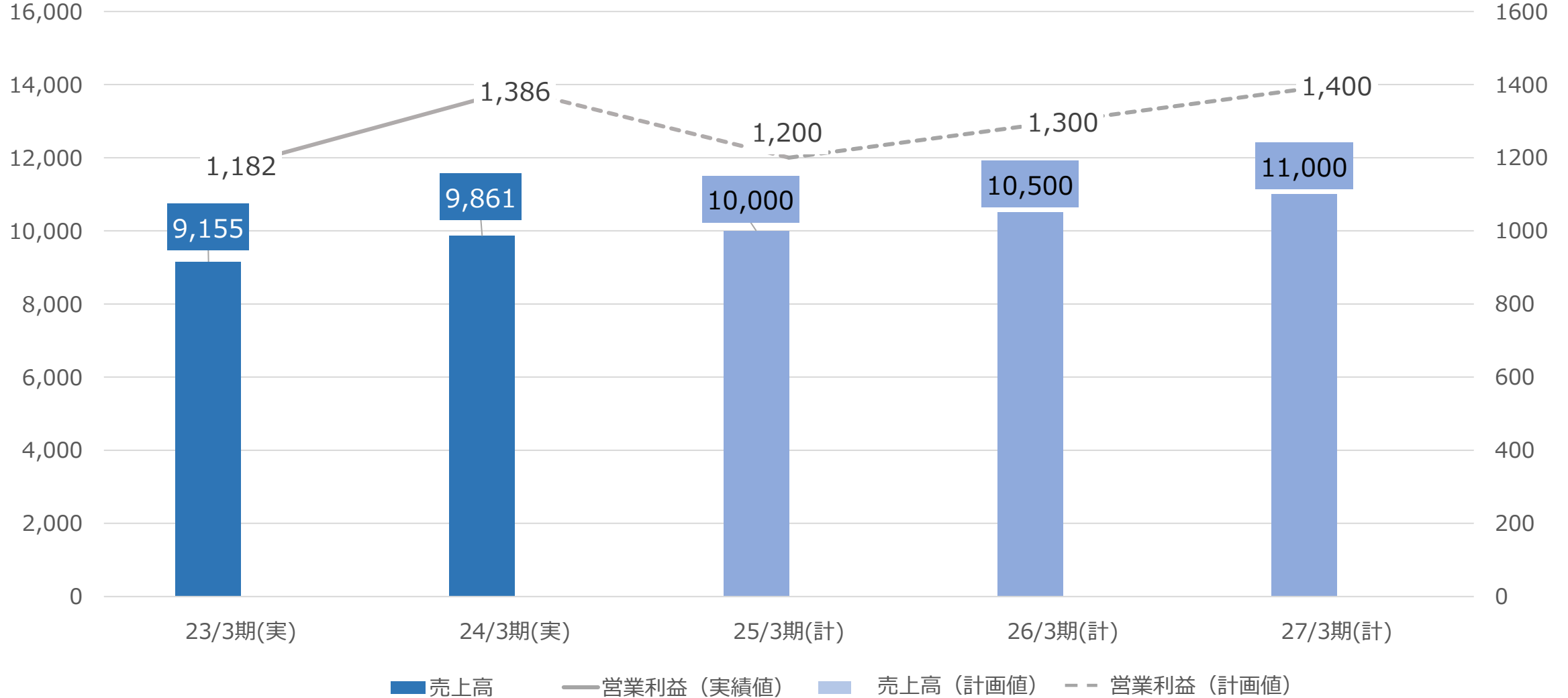
## 中期基本方針

- **利益を重視した方向性の強化**
- **安定的な事業基盤を有する制御機器事業部の事業効率向上と収益性強化**
- **検査機事業、オプティクス事業の成長促進**
- **事業環境の整備と将来の成長に向けた人への投資強化**
- **M&Aを含めた非連続的な成長の模索**

## 中期目標

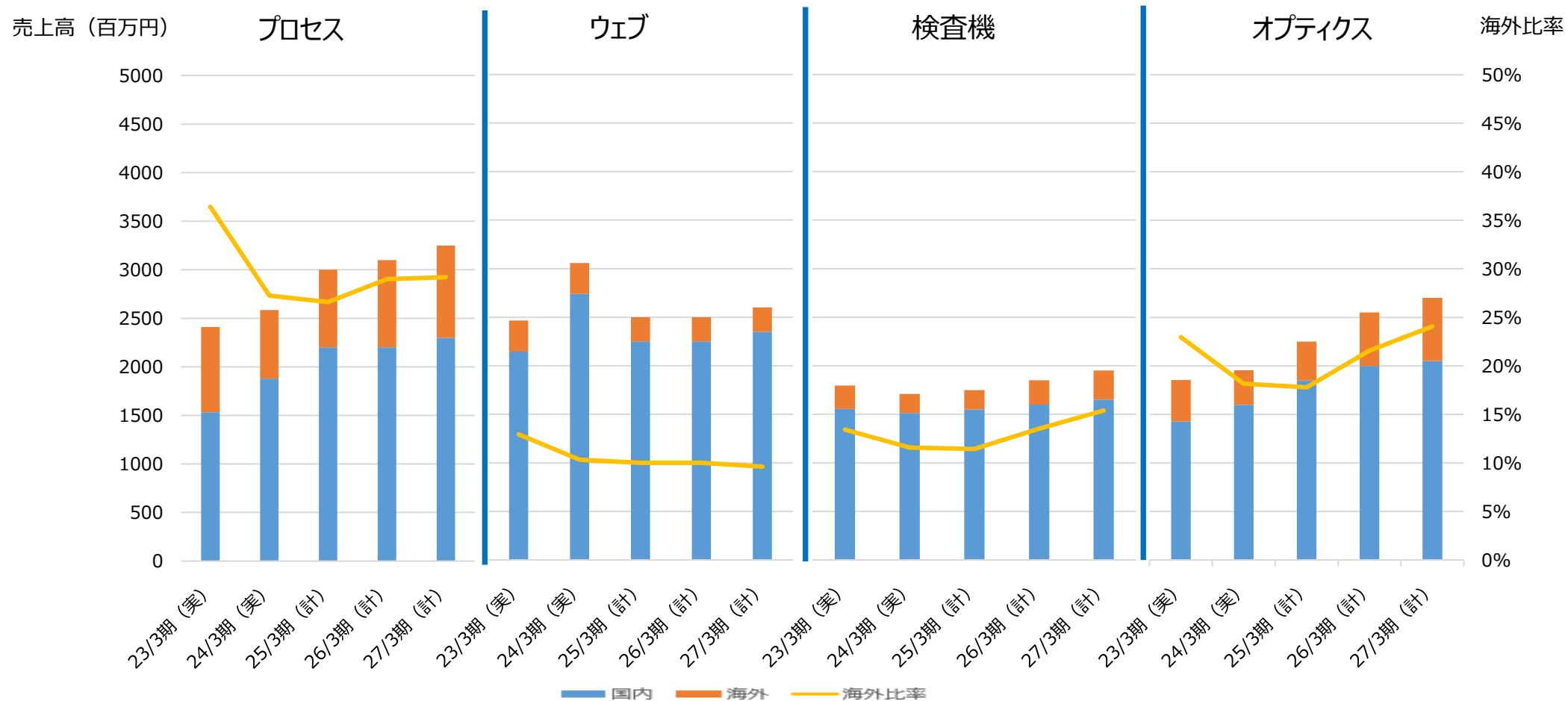
利益を重視した目標へ見直し、営業利益率を高める

(単位：百万円)



## 中期目標

### (セグメント別国内外売上)



## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社グループは資本コストや株価を意識したうえで、以下の方策などにより株式市場からの評価改善を目指します。

### (1) 事業ポートフォリオの再構築による収益性強化

- ・成長事業と位置付ける検査機事業・オプティクス事業の一層の成長促進
- ・新たな事業分野の開拓・既存事業の収益強化徹底・組織変更などによる事業効率改善
- ・事業部間・グループ間の更なるシナジー強化
- ・コストダウン・不良低減・適切な売価設定などによる収益強化策の継続
- ・効率的なネット販売活動の推進・外部との提携強化による海外販売の強化

### (2) 利益還元方針の見直し

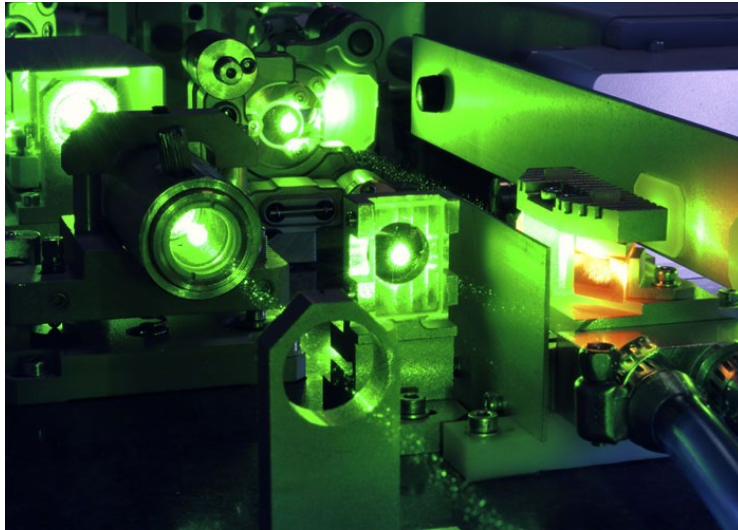
- ・2024年2月に利益還元方針を変更  
連結配当性向40%以上かつ連結自己資本配当率（DOE）2%以上 ⇒ 連結配当性向45%以上かつDOE2.5%以上

### (3) 投資及び資本政策

- ・成長事業・新製品開発への投資強化
- ・デジタル投資の強化による効率化推進
- ・M & Aの継続推進

### (4) IR、PR活動の強化

- ・より積極的なIR、PR活動による株式市場への訴求強化
- ・一般投資家にも解りやすい事業内容説明と成長ストーリーの訴求
- ・非財務情報を含めた株主・投資家とのコミュニケーション機会の充実



## 4. トピックス

**NIRECO**

## 1. 子会社合併および組織変更について

2024年4月1日付でプロセス事業部とウェブ事業部を統合し、新たに制御機器事業部を発足させました。同事業部には、同日付で吸収合併した旧ミヨタ精密株式会社の生産部門も加わることとなります。本組織改編により、事業部の生産性向上を図り、ニレコグループの事業運営をより一層効率化していきます。

## 2. 土地・建物の取得について

当社は中・長期的なニレコグループの事業拡大に向け、八王子市檜原町に土地を取得しました。本物件は、グループにおける電子機器等の生産能力拡大や、新規事業及び光学機器に係る開発・生産などの拠点として活用していく予定です。



### 3. ニレコグループ製品の宇宙開発での利用について

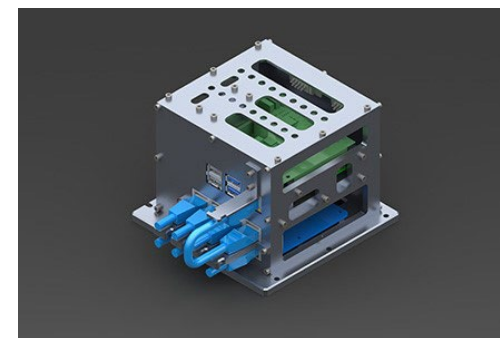
ニレコグループ企業である、西武電機（株）が受託開発したPIデータ収集装置（PDC）が2023年12月にJAXAの観測ロケットS-520-33号機に搭載されました。

同装置は、観測ロケットでのデータの取扱いを簡便にし、効率よくデータを送るためのシステムです。カメラ画像や各種センサからのデータ収集、それらのデータを地上へ伝送する実証実験を行い、全ての実験データ収集結果が得られミッションは成功しました。

また、2026年に打ち上げを計画しているRoman宇宙望遠鏡に、グループ会社である（株）光学技研が製作したウォラストンプリズムが搭載される旨、JAXA宇宙科学研究所の広報誌であるISASニュース2024年4月号（No.517）（5ページ）で紹介されました。

いずれも、当社グループ企業の持つ高い加工技術や信頼性が評価されたものと認識しています。

当社グループでは、今後とも「技術と信頼」の経営理念のもと、社会の進歩に貢献してまいります。



西武電機（株）が受託開発した  
PIデータ収集装置（PDC）

**NIRECO**



# 参考資料

## 会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	中杉 真一
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,084百万円*
連結従業員数	450名*
連結売上高	9,861百万円*

\* 2024年3月期連結

## 沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行
- 2023年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が社名をNireco Korea Corporationへ変更
- 2024年 : ミヨタ精密株式会社を吸収合併

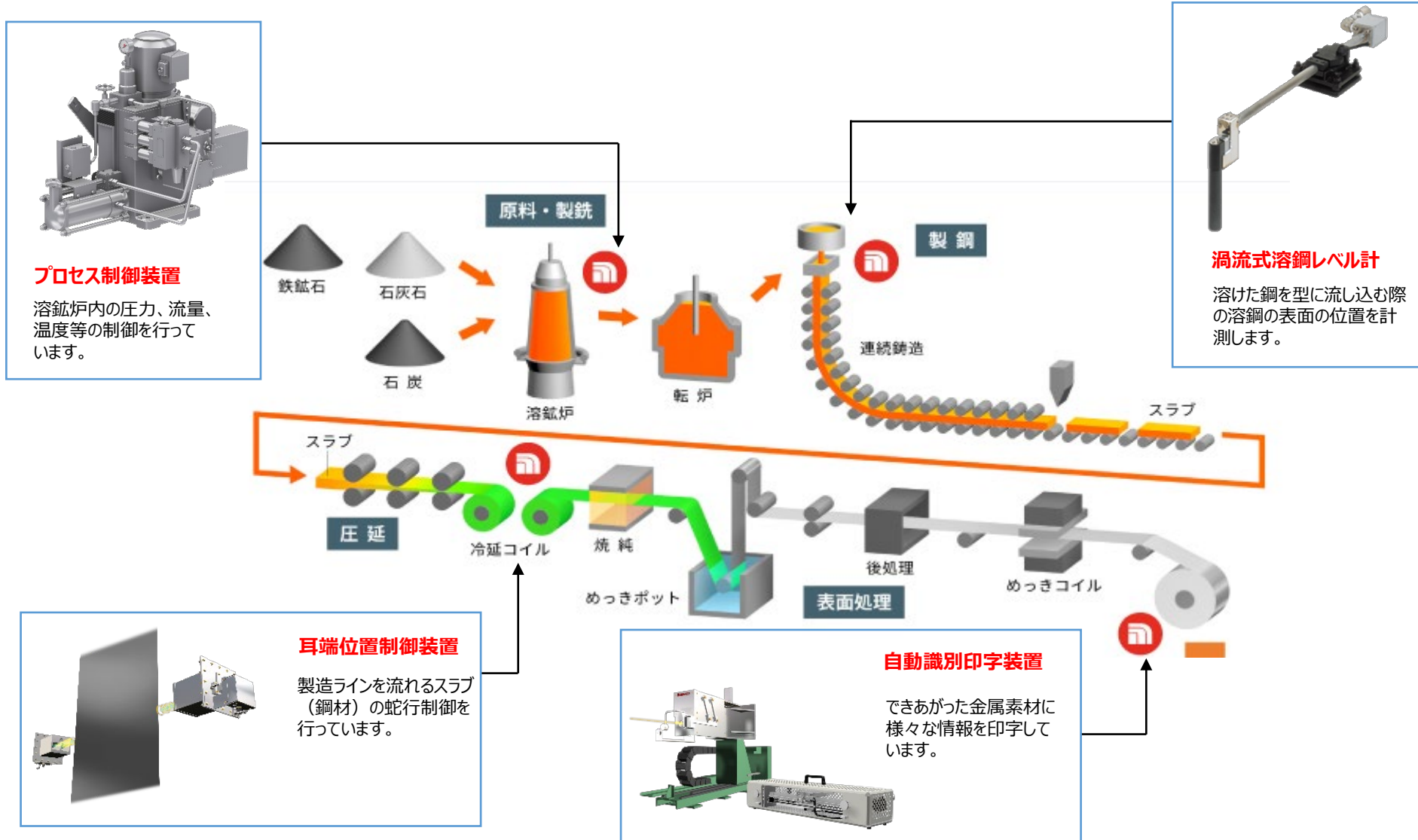
## 経営理念

## 「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

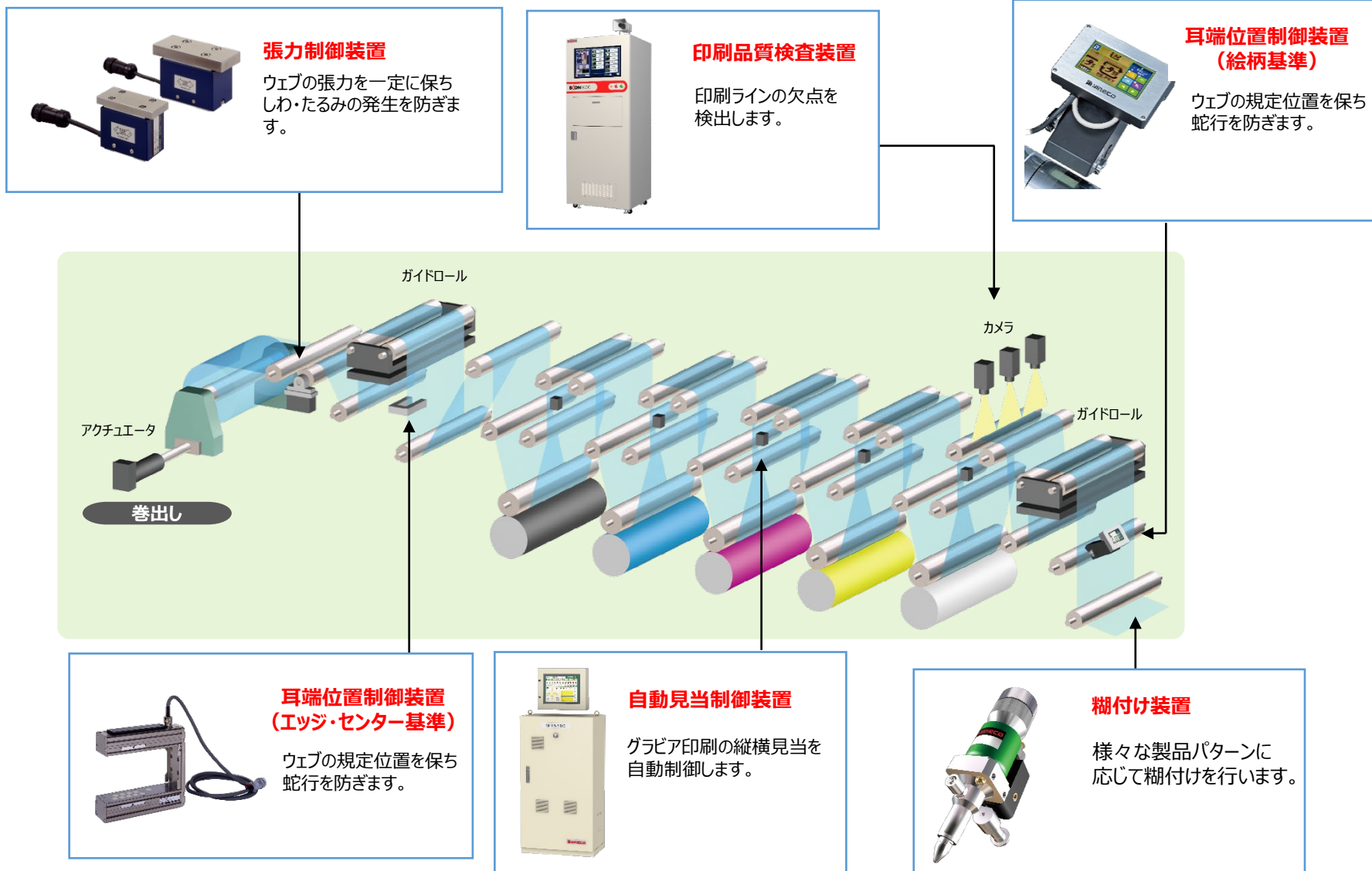
## プロセス事業

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



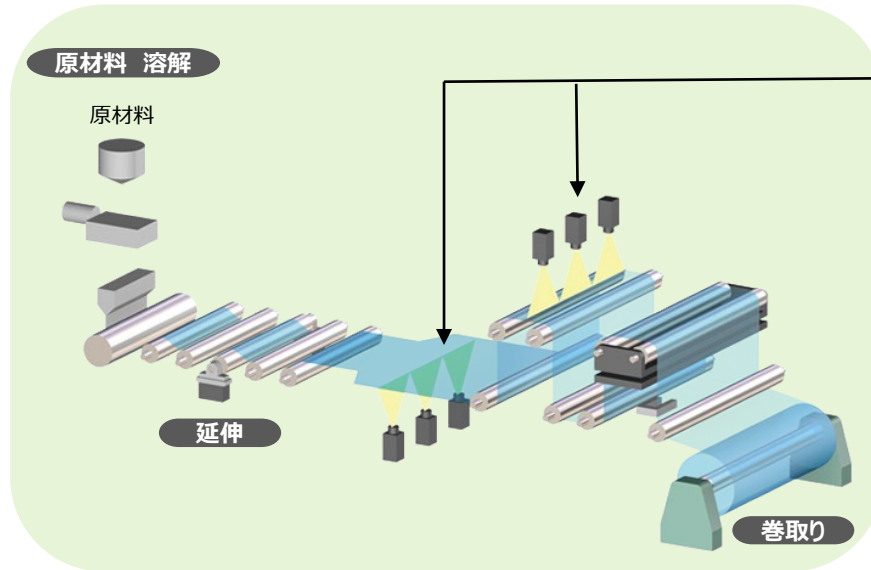
## ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



## 検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



**無地検査装置**  
あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）等を検査します。

**選果装置**  
農産物の品質を外観（キズ、腐敗、サイズ等）、あるいは内部品質（糖度、酸度）から瞬時に非破壊で判別します。





## 光学事業

長年に渡り培ってきたレーザ関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器

### 光学部品



#### 非線形光学結晶

深紫外光への波長変換に適したCLBO素子を提供し、先端半導体検査装置等で用いられています。独自の加工技術で、世界の複数の半導体検査装置メーカーから高い評価を受けています。

#### 偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザ用途等、幅広く提供しています。



### レーザ関連製品



**深紫外ファイバーレーザ Cygnus**  
深紫外ファイバーレーザを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

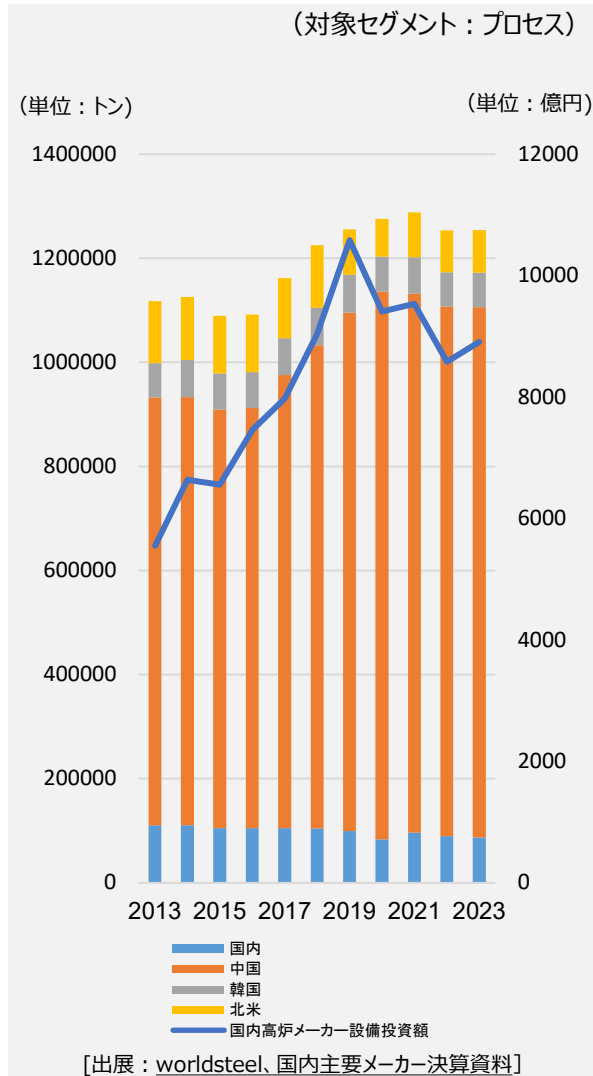


**レーザ装置 HR-G10**  
高出力グリーンレーザを用い、シリコンウエハへの加工、金属へのマーキング、樹脂内のマーキング、薄膜加工等、多用途に用いることが可能です。

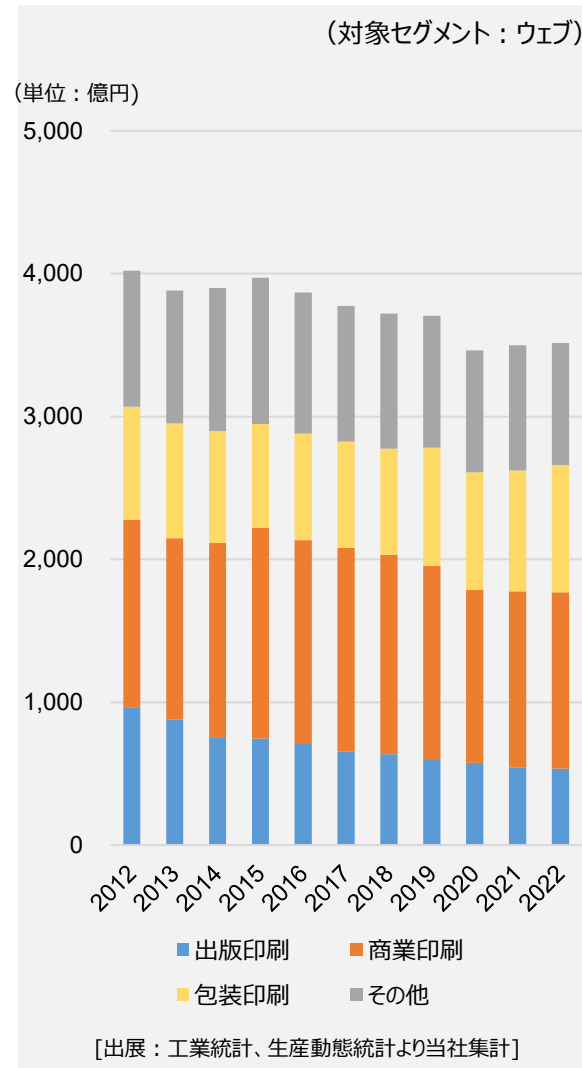


## 各事業市場動向

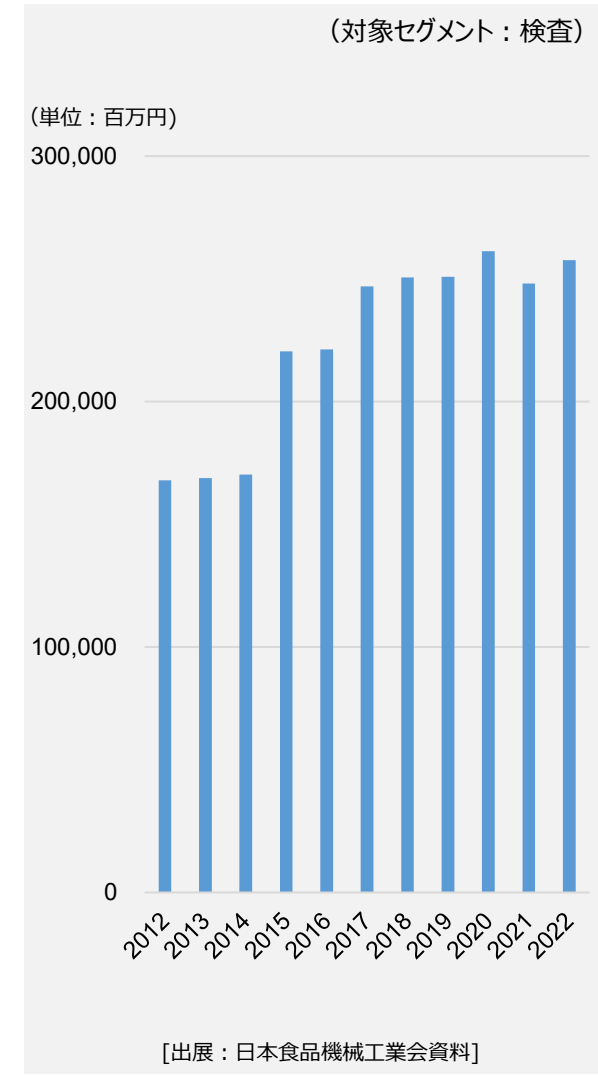
### 地域別粗鋼生産量及び 国内高炉大手設備投資額の推移



### 印刷市場規模の推移

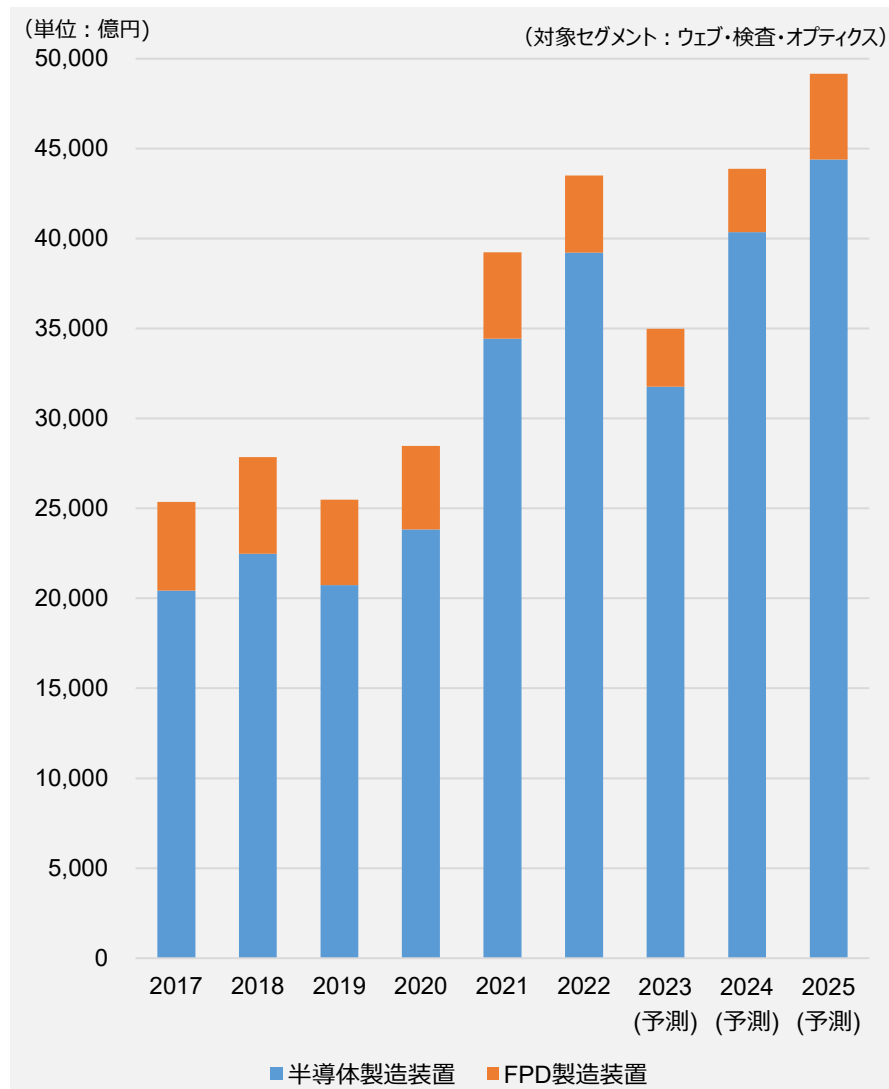


### 食品機械国内販売額の推移 (除、加工機械)



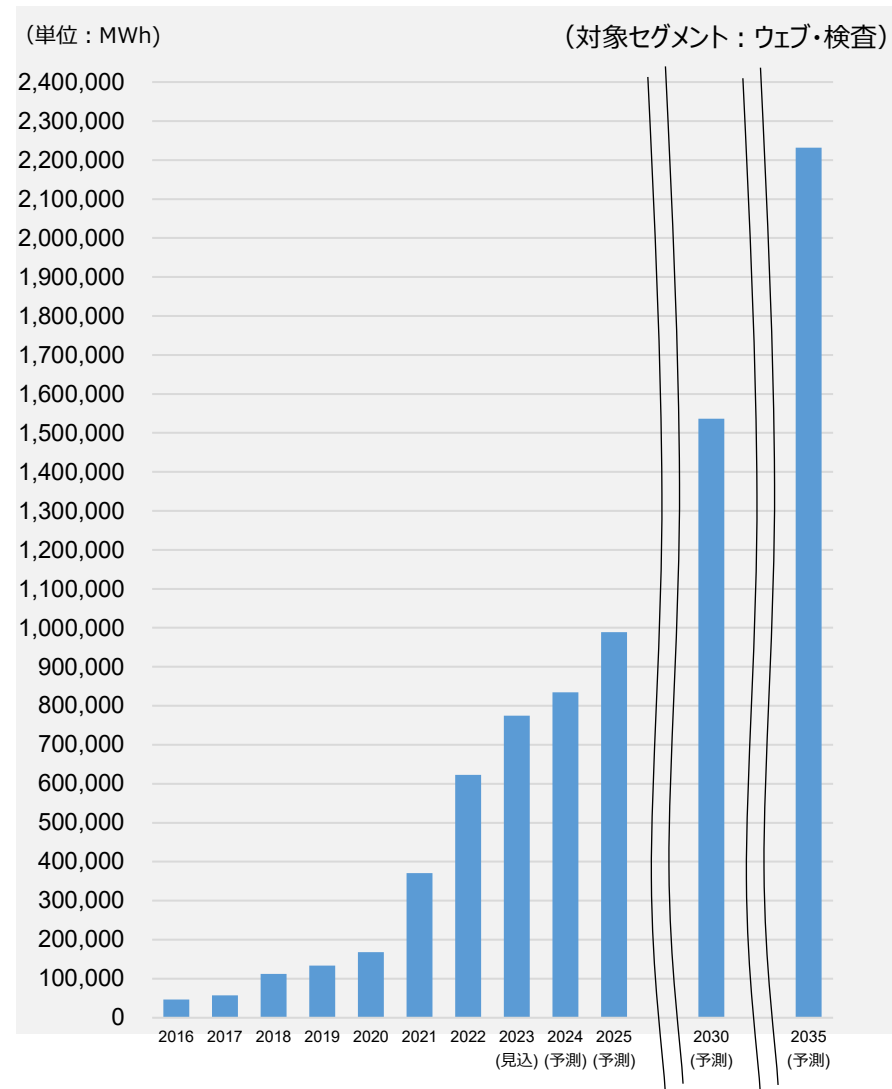
## 各事業市場動向

### 半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

### 車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

## 数値データ

(単位：百万円)

		22/3期	23/3期	24/3期
売上高	プロセス事業	2,216	2,411	2,585
	ウェブ事業	2,631	2,465	3,058
	検査機事業	1,356	1,797	1,711
	オプティクス事業	1,489	1,855	1,954
	その他	423	625	551
売上高合計		8,117	9,155	9,861
セグメント損益	プロセス事業	313	460	442
	ウェブ事業	230	248	589
	検査機事業	35	200	87
	オプティクス事業	401	740	807
	その他	39	57	64
	調整額	-456	-524	-602
セグメント損益合計		563	1,182	1,386

(単位：百万円)

		22/3期	23/3期	24/3期
受注高	プロセス事業	2,232	2,934	2,905
	ウェブ事業	3,387	2,669	2,608
	検査機事業	1,429	2,365	1,353
	オプティクス事業	1,888	1,725	2,649
	その他	642	612	454
受注高合計		9,579	10,307	9,970
受注残高	プロセス事業	1,178	1,700	2,020
	ウェブ事業	1,393	1,597	1,147
	検査機事業	453	1,021	664
	オプティクス事業	944	814	1,509
	その他	223	211	114
受注残高合計		4,192	5,345	5,454

**NIRECO**